

記 事

消 息

日本医史学会月例会について

酒井 シヅ¹⁾, 岡田 靖雄²⁾¹⁾日本医史学会理事長, ²⁾日本医史学会 月例会司会

日本医史学会の月例会は毎月第4土曜日午後1時に順天堂大学でおこなわれている。ただし、2月、総会のある月、7月、8月は休みである。また9月例会は神奈川県地方会と合同で、神奈川県で開催される。12月は日本薬史学会・日本獣医史学会・日本歯科医史学会・日本看護歴史学会と5学会合同で、近年は第2土曜日に開催されている。通常の月例会は14時からで、原則として2名口演で、それぞれ45分ほどの発表と、質疑討論15分である。

今後の月例会運営の方針として、つぎの点を提案したい。

1. 今までの発表の多くは、できあがった研究者が自分の仕事の一端をはなす、という面がつよかったが、若い研究者にもっと利用していただきたい。60%までいった仕事でよいから、それを報告して、先達の助言および批判をあおぐ場として、月例会を利用していただきたい。

2. 月例会は総会の学術大会とおなじく、会員全体の学問の場である。月末に上京される各地の先生も多いことだろう。ご都合がよければその機会に月例会で報告していただけないか。2か月前までに学会事務局にご連絡いただければ、予定にくみいれられる。

同様に、第4土曜日に東京においでになる先生方には、月例会への参加をお誘いしたい。そのときの演題は事務局にお問い合わせをいただきたい。参加費は200円である(口演者からはいただかない)。

月例会の件は、6月11日の理事・評議員会および12日の懇親会の場で岡田が報告したが、月例会につき充分にご存じでない会員もおおいようなので、ここに記した。なお、上記の第2点はヴォルフガング・ミヒェル先生からのご助言によるものである。